				平成23	3年行政	事業	レビュー	シート	. (3	小務省 》		
事	業名	国際連合平	和構築基金拠出	出金(任意拠出金					交政策局	1 333 117		过責任者
	関始・ P定)年度		平成23年度	開始	担当	課室		国連	政策課		課長	小林 賢一
会記	†区分		一般会計		施第	名	VII-16 国	際機関		及び安全 献	保障分)野に係る国際
(具	処法令 体的な も記載)		法第4条第一項 外務省組織令第	[,第二項,第三] 第34条	頃 関係する 通知		2010年4	月平和樟		安保理公臣演説	開討論	における岡田
(目指潔に。	の目的 す姿を簡 3行程度 l内)	ることにより,	財政貢献国とし	tめとする国連の いて持続的にPBC Pを内外に示す。								
(5行程	模概要 !度以内。 添可)	度以内。 可)										
実別	地方法	□直接実施	□業	務委託等	口補助		口貸付		■その他			
				20年度	21年度		22年月	度	23年	度	2	4年度要求
		当 当	初予算	_	_		_		1,1	13		
	算額·	<i>σ</i>	正予算	_	_				_			
執	行額	状 標準	越し等	_	_	_			_	-		
(単位	:百万円)	況	計	-	_	_			1,1	13		
		執行	額	-	_		_					
		執行率	(%)	_								
						単位	20年原	度	21年度	22年	度	目標値 (23年度)
成身	目標及び 限実績 小カム)	することで、 君	関する戦略の」 我が国が平和構 極的に示す。		国数	t -		-	-		21	
		いる女男で作	神をないこれり。		達成度	%	-		-	-		
			活動指標			単位	20年月	隻	21年度	22年	度	23年度活動見込
活動	0) 天積	紛争当事国 供与するプロ	の実情にあわっ iジェクトの数や	せて必要な支援を 供与金額。	活動実績	ブロジェク	38		46	49		- (40~50)
(アワ	トプット)				(当初見込み)	供与初	額 4,810)	3,590	8,99	0	- ()
	ご当たり	情勢など紛争 スバイケース	争当事国におけんで異なる。但し、	模は,現地の治3 る実情に応じ,ケ 1ヶ国当たり又↓ トを単純計算する	_ 		· ·	L		ľ	,	<u>, </u>
	費	世 目	23年度当初予算	24年度要求					増減理由			
平 成		_	1,112,500	_					廃止			
2 ~ 3												
単・ 位 2												
: 4 千年												
一件度]							
算												
内訳		計	1,112,500	_	_							
		HI	1	1	Ì							

	事業所管部局による点検											
	評価	項目	特記事項									
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。										
予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。										
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。										
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。										
の	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。										
流れ、	-	受益者との負担関係は妥当であるか。										
費	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。										
目	_	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。										
5	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。										
助星	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。										
黄	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。										
艾艮	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているが										
E	_											
点矣	·事業の	における課題については、現時点で特に存在しないが、引き続き効果的執 成果目標としては、「平和構築に関する戦略の立案や実施に関与すること										
気 食吉艮	·事業の											
点検結果	·事業の	成果目標としては,「平和構築に関する戦略の立案や実施に関与すること・										
点検結果	·事業の	成果目標としては、「平和構築に関する戦略の立案や実施に関与することでいい。」としており、引き続きその実現に努める。										
点 食 桔 果	·事業の	成果目標としては、「平和構築に関する戦略の立案や実施に関与することでき、」としており、引き続きその実現に努める。 予算監視・効率化チームの所見	で,我が国が平和構築分野を重視している姿勢を積め									
点贪洁具	·事業の	成果目標としては、「平和構築に関する戦略の立案や実施に関与することでいっと。」としており、引き続きその実現に努める。 予算監視・効率化チームの所見 廃止	で,我が国が平和構築分野を重視している姿勢を積め									
点奏诘果	·事業の	成果目標としては、「平和構築に関する戦略の立案や実施に関与することでいっと。」としており、引き続きその実現に努める。 予算監視・効率化チームの所見 廃止	で,我が国が平和構築分野を重視している姿勢を積め									
点卖古具	·事業の	成果目標としては、「平和構築に関する戦略の立案や実施に関与することでいっと。」としており、引き続きその実現に努める。 予算監視・効率化チームの所見 廃止	で,我が国が平和構築分野を重視している姿勢を積									
点食苦具	·事業の	成果目標としては、「平和構築に関する戦略の立案や実施に関与することでいっと。」としており、引き続きその実現に努める。 予算監視・効率化チームの所見 廃止	で,我が国が平和構築分野を重視している姿勢を積									

●2010年4月の平和構築に関する安保理公開討論における岡田外務大臣演説(関連部分抜粋) 「息の長い平和構築への取組にあたっては持続的な資源の確保が必要です。まず、平和構築基金(PBF)を始めとする紛争直後のための資金 を一層活用することにより、二国間援助・多国間援助を含む中期的な資金の確保につなげる必要があります。・・・(中略)・・・我が国としても、本 日の議論を踏まえ、紛争後の各国において平和を永続化させる取り組みに積極的に参加してきたいと考えております。」

4 平成23年行政事業レビューシー (外務省) 事業名 GAVIアライアンス拠出金(任意拠出金) 担当部局庁 国際協力局 作成責任者 事業開始・ 終了(予定)年度 平成23年度開始 担当課室 地球規模課題総括課 課長 松浦 博司 会計区分 一般会計 施策名 VII-3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献 根拠法令 関係する計画、 外務省設置法第4条第3項 GAVIアライアンスとの拠出にかかる覚書 (具体的な 通知等 GAVIアライアンス(以下、GAVI)は、予防接種率を向上させることにより子どもたちの命と人々の健康を守ることを目的として2000年に設立。 事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内) 1.61カ国の開発途上国を対象とし、同途上国政府による以下の取組を支援。 (ア) (5個ワクチン:ジフテリア、破傷風、百日咳、B型肝炎、インフルエンザ菌b型(Hib)、黄熱病、麻疹) (イ) 普及の遅れているワクチンおよび新型ワクチン(肺炎球菌、ロタウィルス)の普及支援 (ウ) 予防接種普及を効果的に行うための保健システム強化(2006年より) (エ) 国家の予防接種プログラムの予算の安定性及び持続性の向上のための取組、 2. ワクチン市場への介入(供給・価格の低下等) (5行程度以内。 3. 長期的かつ計画的に官民の資金を確保するため、革新的な資金調達メカニズムを含む取組の実施(IFFImやAMC等) 別添可) 実施方法 □直接実施 □業務委託等 □補助 口貸付 ■その他 22年度 20年度 21年度 23年度 24年度要求 当初予算 832 762 予 補正予算 算の 予算額· 繰越し等 _ **執行額** (単位:百万円) 状 況 計 832 762 執行額 執行率(%) 日標値 成果指標 単位 20年度 22年度 21年度 (2015年度) 成果目標及び 成果実績 万人 340 535 582 982 成果実績 GAVIによる直接的な支援により、救われた人の (アウトカム) 達成度 % 35 54 59 活動指標 単位 20年度 21年度 22年度 23年度活動見込 活動指標及び 活動実績 (アウトプット) 活動実績 213 257 288 GAVIにより予防接種を受けた人の数(2000年か 百万人 (当初見込 らの累計) 単位当たり 総プログラム支出額/予防接種を受けた人数 89(円/人) 算出根拠 コスト 費目 主な増減理由 23年度当初予算 24年度要求 平成 GAVIアライアンス拠出金 831,957 761,661 (単・ 位 2 : 4 千年 円度 ·算内訳

761.661

831.957

計

	事業所管部局による点検											
	評価	項目	特記事項									
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。										
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。										
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。										
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。										
の	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。										
使流途れ	_	受益者との負担関係は妥当であるか。										
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。										
目	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。										
活動	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。										
実	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。										
積、	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。										
成果	0	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか										
果実績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。										
点検結果	費用対効果の高い予防接種を安価に供給するための包括的取組を実施しているGAVIへの拠出を通じて期待される主な効果は以下3点。(1)GAVIの取組により、MDGsの達成期限である2015年までに400万人の命が救われることが推定(これまでにGAVIの支援を通じて救われた命は582万人)。GAVIへの拠出を通じて、MDGs4及び5の達成に貢献。(2)MDG4及び5の成果達成状況をモニタリング、国民や国際社会に対して、目に見える成果をアピール可能。(3)2011年5月に開催されたG8ドーヴィル・サミットの首脳宣言においても、GAVIの重要性に関する文言が盛り込まれる等重視されており、GAVIへの拠出を継続することにより我が国の国際的プレゼンスを確保。											
	<u> </u>	予算監視・効率化チームの所見										
		拠出額減額										
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)									
		補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となって)	いる場合はその結果も記載)									

平成23年行政事業レビューシート (外務省														
事	業名	平和利用イ	ニアシアティブ基金技			担当部				拡散・科学部	<u> </u>	作	 成責任者	
	製開始 - 予定)年度		平成23年度開	月始		担当記	果室		国際原	·····································		室長	: 羽鳥 隆	
	十区分		一般会計			施策	名			等を通じた政務	外及び安全	保障分	分野に係る国	
	処法令					関係する	計画	-	際貢献					
	体的な も記載)		卜務省設置法第4			通知	等			-	_			
(目指潔に。	の目的 す姿を簡 3行程度 U内)	軍縮·不拡散	した原子力発電の 分野における先進 は国がIAEAの強化	国と途上国の対	立構造	造を緩和し、	協力	関係	の促進を図るた	めに原子力安全	非原発分	野関連		
(5行程	≹概要 是度以内。 添可)	動を支えるた 電分野(環境	ニシアティブは、平 めの財源として設 , 水資源. 鉱工業. パロジェクトを実施。	立をよびかけたも 食品、農業、健康	の。こ 東等に	このイニシア こおける放射	'ティブ 寸線の	の下利用	Fで、原子力発電 引)及びこれらの利	導入基盤整備等 川用の安全・セキ	の原子力系 ユリティに係	を電分野	野, 非原子力発 所(放射線防護	
実施	包方法	口直接実施	口業	务委託等		口補助			貸付	■その他				
				20年度		21年度			22年度	23年	度	2	4年度要求	
		予	初予算	_		-			_	31			294	
予:	算額·	<i>σ</i> – – – – – – – – – – – – – – – – – – –	正予算	-		_			_	_				
執	行額 ::百万円)	状 繰 況	越し等	_		-							204	
(+12	[[7]]		計	-		_				31:	2		294	
		執行		-	_									
		執行率	≅(%)	-		-			-			_		
成里日	目標及び		成果指標			単位			20年度	21年度	21年度 22年		目標値 (23年度)	
成身	ままり と実績 シトカム)			全、非原発関連分野プロ 軍縮・不拡散分野での先			国数	女	_	_	-		10	
()-)	(L)(A)		国の対立構造を組		達成度	%		-	_	-				
			活動指標				単位	立	20年度	21年度	22年	度	23年度活動見込	
活動技	旨標及び 助実績		, 米国及びIAEA		て	活動実績			_	_	_		(選定した16件のプロジェクトについて,	
(アウ	トプット)		を選定・実施する はかり方は、選兌		ŧ	(当初見込 み)					()	米国及びIAEAと調整し、実施可能なプロジェクトを最大限実施。)	
単位当たり コスト			(円/	•		算出根拠								
-		世 目	23年度当初予算						Ė	な増減理由				
平成23・24年度予算内	, <u></u>		311,500	294,000										
訳		計	311,500	294,000	-									

	事業所管部局による点検											
	評価	項目	特記事項									
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。										
状· 況予	_	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。										
第の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。										
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。										
の	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。										
使れる	_	受益者との負担関係は妥当であるか。										
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。										
· 目	_	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。										
活動	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。										
実	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。										
績、	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。										
成果	0	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか										
果実績	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。										
検結果	点 検											
		予算監視・効率化チームの所見										
	ŧ	処出額減額										
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)									
		補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となって)	る場合はその結果も記載)									

													尹未甘			O
						平成2	234	丰行政 事	事業	レビ.	ューシー	- -	(४	ト務省)		
事	業名		热带木材機 意拠出金)		性条約	共同プロジェクト	·拠出	担当部	局庁		玉	際協	品力局		作	或責任者
	模開始・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			平成2	3年度			担当	課室		地	球環	環境課		課長	杉中 淳
会記	†区分			一般	会計			施策	名	VII –	-3 国際機	関を	通じた地球	規模の諸	問題に	係る国際貢献
(具	心法令 体的な も記載)		外	務省設置法	法第4条	€第3号		関係する通知		•	1994年国		熱帯木材協 生物多様性多			第21条2
(目指潔に。	の目的 す姿を簡 3行程度 l内)	本る・熱帯・和るこれるこれるこ	も同プロ 事業を優 寺生産林 林保護地 ュニティ()	ジェクトでは 先し、以下 における生 域の画定、 の生計向上	t、CBI の各目 物多材 管理の 及び柔	目標に貢献す 様性保全の推 D支援: 同目	約国 る。 進: 票11 ヒ回ぬ	会議(COP 目標7(林第 (保護地域 選の活動へ	10)で 美が持 を通し の参	採択さ続可能 続可能 にて生物 加の推	れた戦略計 に管理され 変様性が(ト画2 いる) 保全	011-2020(動 される)	愛知目標)	の目標	悪の達成に資
(5行程	養概要 !度以内。 添可)					生産国33か[処出を行う。	国)に	:おいて、C	BDの	森林の	生物多様性	生作訓	業計画実施 を	を支援する	5t=\$0	D能力構築及
実施	恒方法	口直	接実施		□業務	委託等		口補助		口貸付	र्ग	•	その他			
						20年度		21年度			22年度		23年	度	2	4年度要求
		予質				_		-			_		118			108
予算額・		算の		E予算		_			-		-		_			
執	行額 :百万円)	額状	:-			_		-					- 110			
(+12	. [[[, []]	7)6	++ /-	計 ————		_		_		_			118			108
		執行額 執行率(%)				_	_		_							
			 		 指標				í	 単位	20年度		21年度	22年	#	目標値
成果目	目標及び	*h ***	4		** 担保						20年度		21年度	22#	及	(年度) 60ヶ国
	果実績 ・トカム)	のガ 物多	イドライン	ノ、木材生産				成果実績	СВІ	O加盟国 O締約国		_				192ヶ国
		た。		ヤチ	.+F.4m			達成度	%				04/7/17		<i></i>	
活動打	旨標及び	000	· ① 木 ++ ·		指標	#1.E.E.###	++=		単位	20年度			21年度	22年	医	23年度活動見込
	り た 枝 トプット)	するフ	ための共	同プロジェ	クトをI	業計画実施を TTO加盟国(る(能力構築)	生	活動実績(当初見込	プロジェク	7ト数						10
		技術	支援)。					み)						()	(2011–12)
	:当たり スト		上言	己理由のたの	め、算	出不可。		算出根拠								
		目		23年度当初]予算	24年度要求	:				Ė	Eなt	曽減理由			
成 2 3 単・ 位 2	国際熱帯木 様性条約共			117,50	0	107,572										
: 4 千年 円度																
) 英																
内訳																
iii C		計		117,50	0	107,572										

	事業所管部局による点検												
	評価	項目	特記事項										
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。											
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業 ではないか。											
第の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。											
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。											
の	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。											
使れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。											
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。											
目 ・	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。											
活	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。											
動実	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。											
績、	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。											
成果	0	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか											
果実績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。											
点検結果	点 検 機出案件については、プロジェクト管理委員会において、案件実施のモニタリングが行われる。必要に応じ、現場視察を行い、各案件の効果 発揮についての検証を行うことが可能。さらに、年1回開催される理事会においても進捗状況等につき、検証可能。												
		予算監視・効率化チームの所見											
	ŧ	処出額減額											
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)										
		補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となって)	いる場合はその結果も記載)										

						平成2	234	丰行政	事業	レ	レビューシート(外務省)						
事	業名	法の	支配・海洋	羊法秩序確立	促進	処出金(任意拠)	出金)	担当部	局庁			国際法	:局		作	成責任者	
	関始・ ア定)年度			平成2	3年度			担当	課室			国際法				三上 正裕	
会記	†区分			一般	会計			施策	名		国際機関を通	じた政	務及び安? 必要な		野に係	る国際貢献に	
(具	心法令 体的な も記載)		外	務省設置法	第4约	条第3項		関係する 通知		•							
(目指潔に。	の目的 す姿を簡 3行程度 l内)	(国連 成の)	我が国の外交政策の柱の1つである国際社会における法の支配・海洋法秩序の確立促進に資する活動を行っている国際機関 (国連法務部, 海事・海洋法課等)への拠出により, 国際機関の関連会合の開催の支援や, 国連事務局・国際機関による能力形成のためのセミナーの開催や個別プロジェクトの実施の支援を行い, 我が国の国益に資する形での国際法秩序の形成, ルールメーキングを促進する。														
(5行程	美概要 !度以内。 添可)	する(施に	まか, 関 ついて財	連国際機関	間や国 爰する	連法務部海事 (平成23年度	•海	洋法課が写	尾施す	る 国	上国の代表の関 国際法秩序の刑 &上国委員会譲	彡成,)	レールメー	キング等	固別プ	ロジェクトの実	
実別	地方法	口直:	接実施		□業務委託等						貸付		の他				
		_				20年度		21年度			22年度		23年		2	4年度要求	
		予		切予算									28			30	
予:	算額·	算の		E予算 													
	行額 :百万円)	状況		^{図し寺} 計								28			30		
			執行														
		執行率(%)														目標値	
成里E	標及び		成果				単位		20年度	2	1年度	22年	度	(23年度)			
成县	ままり 大力ム)				開催の支援や国連事務			成果実績	大陸棚 長申請 査数	審						41	
()				による能力 プロジェクト	I形成のためのセミナー 実施支援。			達成度	%								
				活動	指標				単位	ī	20年度	2	:1年度	22年	度	23年度活動見込	
	旨標及び 助実績	平成	23年度	より実施				活動実績									
	トプット)							(当初見込	会議	数							
								み)						()	(5)	
	:当たり Iスト							算出根拠									
	費	目		23年度当初]予算	24年度要求					Ė	な増	減理由				
平成	その他(人作	‡費、旅 営等)	養、事務	27,703	3	29,577											
2 3																	
単・ 位 2																	
: 4 千年																	
円度 〇予																	
算内																	
訳		計		27,703	3	29,577											

	事業所管部局による点検											
	評価	項目	特記事項									
目的	_	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。										
状・況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業 ではないか。										
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。										
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。										
の	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。										
使れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。										
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。										
目 •	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。										
活	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。										
動実	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。										
績、	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。										
成果実	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか										
実績	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。										
果	大陸棚限界員会委員はこれまでも審査作業の効率化に努力してきているところであり、我が国として評価している。申請件数の急増にともなって委員会の作業量が増加し、審査会合も増えてきている状況があり、途上国委員の会合参加経費を支援することを目的とする本件信託基金について、これ以上の合理化は困難な状況にある。											
		予算監視・効率化チームの所見										
		上記の予算監視·効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)									
		補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となってし	、2.担本けるの益田士 記載\									
		補化 (地名にマネロカリー公開ノロセハザの対象となりし	・心物日はての相不可能集/									

					平成	231	年行政	直攀	レビューシー	<u> </u>	· ト務省)					
事	業名	採取産	業透明性イ	ニシアティブマルチド・	ノス・ ナー信託基金拠出金(任意		担当部	局庁		経済局	<u> </u>	作	成責任者			
	表別始・ 予定)年度			平成23:	丰度		担当	課室	経済	安全保障課		課長	長 大隅 洋			
	計区分			——般紀	登費		施策	i名	経済協力に係	る国際機関等を 際貢献に			会分野に係る国			
(具	処法令 体的な も記載)			務省設置法第 省組織令第 广	四条第三項 十八条第三項		関係する計画、 通知等 EITI国際事務局からの要請									
(目指潔に。	の目的 す姿を簡 3行程度 以内)	委託	機関とし	て、EITI実施	P心の支援国をに 国がEITI活動を見 、我が国政府とし	実施す	るための資	全金的	資源関係機関からな支援を行っている。。	らの拠出金による る。資源産出国	を基金を有 のEITIへ <i>0</i>	してお)参加	らり、世界銀行を の促進や、EITI			
石油・ガス・鉱物資源等の開発に関わる資源開発企業から資源産出国政府への資金の流れの透明性を高 や腐敗を予防し、もって成長と貧困削減に繋げる多国間協力の枠組み。これまで、イラクやコンゴ(民)など でいる故に、汚職、紛争をもたらし、一層貧困を深刻化させるという、いわゆる「資源の呪い」を防止するたる 英首相(当時)が「持続可能な開発に関する世界首脳会議」(於ヨハネスブルク)でEITIを提唱した。EITIは〔1 5行程度以内。 別添可) 別添可)										民)など、§ するため、 EITIは①資	豊富な 200 源開	資源が賦存し 2年9月、ブレア 発は持続可能				
実施	拖方法	口直	接実施		業務委託等		□補助		口貸付	☑その他						
			20年度				21年度		22年度	23年	度	2	24年度要求			
		予			_		_		-	13			13			
予:	算額·	算の		正予算	_				-							
執	行額 ::百万円)	状況	繰	越し等	_		_		-	_						
(半位	B/J/D/	<i>)</i> ,		計	-		_		-	13			13			
		執行額			_	_		_								
			執行率	5(%)	-	-		-			_					
成里E	目標及び			成果排	標			単位	20年度	21年度	22年	度	目標値 (23年度)			
成身	マスタン 果実績 アトカム)	出国政	府への資金	金の流れの透明性	わる資源開発企業から を高めることを通じて、 或に繋げることを目指し	不正や	成果実績	围	_	_	_	13 目標値				
		の殆ど	を輸入に依		にとっても安定的な資源	達成度	%	_	_	_						
				活動排	標			単位	20年度	21年度	22年	度	23年度活動見込			
活動	旨標及び 助実績 トプット)	出国政 腐敗を	(府への資金予防し、もつ	金の流れの透明性 って成長と貧困削	わる資源開発企業から を高めることを通じて、 域に繋げることを目指し IIことっても安定的な資	不正や た(資源	活動実績	会議		_	_		_			
				である。日本の財政 イニシアティブをま	対的貢献を可能な限り確 援する。	筐保し、	み)				(-)	(1)			
	z当たり iスト			7	0(千円/1人)		算出根拠	日本	の分担金額/EIT	I職員数(190名)						
	1	費目		23年度当初音	予算 24年度要求	求			Ē	主な増減理由						
平成23・24年度予算で		その他		13,350	12,600											
訳		計		13,350	12,600											

	事業所管部局による点検											
	評価	項目	特記事項									
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。										
状・況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。										
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。										
資	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。										
金の	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。										
使流れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。										
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。										
· 目	_	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。										
活動	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。										
実績	Δ	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	適切な成果目標は立てているものの、達成度については23年 度予算執行中のため判定不可能。									
•	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。										
成果	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか										
実績	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。										
点検結果	検 ■可能な開発に関する世界首脳会議」(於ヨハネスブルク)でEITIを提唱した。EITIは①資源開発は持続可能な経済成長の基盤を提供するも お してい でいっている。②グッドガバナンスと資金の透明性の向上を実現するために最適な方法を検討、③「資源の呪い」に対処することを活動目的としてい											
		予算監視・効率化チームの所見										
		_										
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)									
		補配(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となってし	いる場合はその結果も記載)									

			平月	成23年行政	事業	「業レビューシート (外務省)						
事	業名	南ア	フリカ開発共同体拠出	金(SADC)(任意拠	出金)	担当部	局庁	中東	アフリカ局		作	成責任者
	模開始・ 予定)年度		平成	7年度		担当	果室	アフ	リカ第二課		課長	齋田 伸一
会	计区分		一般	会計		施策	名	₩-1 国際機	関を通じた政務 貢		保障分)野に係る国際
(具	処法令 体的な も記載)		外務省設置法	第4条第3項		関係する通知		,	SADC事務局	めらの要	請	
(目指潔に。	の 目的 す姿を簡 3行程度 以内)	内経	アフリカ共同体(SA 済社会開発,地域線 係を強化するため,	充合強化に取り組む	方南部	アフリカ開	発の	中心的役割を担う	然・自然資源を 有 重要な地域的枠	ョする域内 組みであ [。]	15カ国 る。我;	ョが加盟し, 域 が国とSADCと
(5行程)	業概要 建度以内。 添可)	合・委 DCの	Cは年一回の定例 員会・ワークショッ 機能強化を目指す	プ開催等活発な活 各種ワークショッフ	動を行	テっている。 開催を支持	本案	件は我が国として、 ことにより、SADC	比較的小規模	ながら本作	拠出	
実加	拖方法	口直:	接実施 [□業務委託等 		口補助		□貸付	■その他			
				20年度		21年度 2		22年度	23年	度	2	4年度要求
		予	予 当初予算 2					_	2			2
予:	算額・	算の	補正予算	_								
執行額 (単位:百万円)		状況	繰越し等	_				_	_			
		//	計	2		2			2			2
			執行額 	0		2		_				
			執行率(%)	0.0%		100.0%					_	
成果	目標及び		成果	指標 ————————————————————————————————————			単位	20年度	21年度	22年	度	目標値 (23年度)
成	ま実績 アナカム)	目標ルデ	:SADC事務局及び ィング強化	「地域のキャパシテ	ィ・ビ	成果実績	名	0	50	50 -		50
			:セミナー参加者数			達成度	%	0	100	-		
×==1	64 5 7. + ¢		活動	指標			単位	20年度	21年度	22年	度	23年度活動見込
活動	旨標及び 助実績					活動実績	_	0	1	-		-
()	トプット)		セミナーを1	回以上開催		(当初見込み)	回	(1回以上)	(1回以上)	_		(1回以上)
	z当たり iスト		2(百万	円/1回)		算出根拠	セミナもの。	開催にかかる記	者費用をセミナー	-開催回数	(1回)	リエング (以上)で割った
_		目	23年度当初		रं			Ė	な増減理由			
(単位:千円) 平成23・24年度予算内訳	事業費	計	2,117	1,698								

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的	Δ	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
状・況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	「昨年のリモート・センシングセンターのセミナーのように、 SADCにとって裨益すると同時に我が国にとっても有意 」義な内容のセミナーを今後も追求していくことが重要。
第の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	20112027 2720270 0 (120 220
資金の流れ	Δ	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	0	受益者との負担関係は妥当であるか。	特に支出先の選定に問題があるとは考えていないが、 競争性の確保については今後注意を払っていきたい。
, 費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
動実	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
積	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
成果	0	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
実績	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
結果			
予算監視・効率化チームの所見			
ー 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			